

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前

【「言葉」を問う問題】

1 次の文の のじゅつ語に対する主語を 線部 1～4 の中からそれぞれ選びましょう。

(1) 道ばたに 小さな 花が ぼつんと さく。

レベル 8

(2) 姉が 出す なぞなぞは とても むずかしかった。

レベル 8

2 次の文の の言葉がくわしくしている言葉を 1～4 からそれぞれ選びましょう。

(1) わたしは 明日、 白い 服を 着る。

レベル 5

(2) 十一時に 田中さんの 家の 前に 集まろう。

レベル 5

3 次の文の中から、 線部の漢字の読み方が他の読み方とことなるものを、ア～ウ からそれぞれ選びましょう。

(1) ア ケーキを 平等に切り分ける。
 イ 世界の 平和を願う。

レベル 5

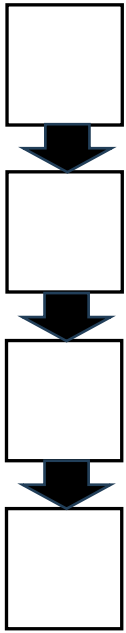
(2) ア 具合が悪かったので学校を休んだ。
 イ サッカーの試合に勝ってうれしい。
 ウ クラスのみんなで 合唱する。

レベル 5

4 次のア～エの漢字を、漢字辞典の「そう画さくいん」で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

レベル7

ア 印
イ 弟
ウ 刷
エ 世



5 の中からた意味をもつ漢字を組み合わせ、二字のじゆく語を三つ作りましょう。

レベル8

強	周	岩	辺
思	石	読	考

--	--	--	--	--

6 次の には同じ言葉が入ります。
の中からそれぞれ一つずつ選びましょう。

レベル6

(1) えびのてんぷらを
妹にプレゼントを
話を聞くために顔を

--	--	--

--

(2) 七五三に着物を
折り紙をはさみで
レタスをあらって水気を

--	--	--

--

きる かける とる あげる

7 次の文章の は、何を指していますか。文章中から三字で書きぬきましょう。

レベル6

(1) 三丁目にある大きなプール。ぼくはあそこで平泳ぎの練習をした

--

(2) 冷ぞう庫にプリンが入っています。おやつにそれを食べていいですよ。

--

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

- 1 田中さんたちは、六年生を送る会で行う「五年生の出し物」の内ようについて話し合っています。次の【話し合いの様子】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

田中さん

それでは、六年生を送る会で行う五年生の出し物として、どんな内ようがいか話し合います。五年生らしさが伝わる内ようになるように考えてください。

青木さん

五年生のおし物としては、六年生に『ありがとう』の気持ちが伝わる内ようにするのがいいと思います。委員会活動や行事でお世話になったことを取り上げて、感謝の言葉かんしゃを伝えるといいと思います。

Aさん

感謝の気持ちを伝える内容はいいですね。でも、六年生に気持ちがより伝わるようにするには、どんな伝え方がいいと思いますか。

～ここからは、話す順番が整っていません。～

Bさん

さらに、六年生がしてくれたことに対して、これから自分たちがどうしていきたいかも伝えると、感謝の気持ちがもつとはつきりすると思います。

Cさん

伝え方を工夫するなら、六年生と一緒に活動したときの写真や思い出の場面を使って伝えると、どんなことに感謝しているのかが分かり、気持ちが伝わりやすいと思います。

Dさん

たとえば、最高学年としてがんばる決意を伝えるのはどうでしょう。そうすれば、『六年生のおかげです』という感謝につながると思います。

田中さん

みなさんの意見をまとめます。出し物は、六年生への感謝の気持ちが伝わる内容にします。そのために、感謝の言葉を伝え、写真や思い出の場面を使って分かりやすくします。また、六年生への感謝を伝えるために、最高学年としてがんばる決意も入れるようにしましょう。

- (1) Aさんの発言についての説明として、ふさわしくないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えましょう。

レベル6

ア 友だちの意見を受けて、話し合いをさらに進めようとしている発言

イ 出し物の内容だけでなく、伝え方にも目を向けさせている発言

ウ 話し合いで出た意見を整理し、みんなの考えをまとめている発言

エ ほかの人に質問しつもんをして、話し合いを深めようとしている発言

（2）

ＢとＤさんの発言を、話し合いの流れとして最もよい順になるように、上から下に並びかえましょう。



レベル 8

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前

【「書くこと」を問う問題】

1 次のア～エのカードは、雲ができる仕組みについての文章の一部です。仕組みを説明する文章として適切な順番となるように、正しくならびかえましょう。

レベル7

ア こうしてできた無数のつぶが、空気の流れに乗って集まり、雲となります。以上のように、雲は地球の水がすがたを変えて空を旅しているものなのです。

イ まず、海や地面にある水が太陽の熱であたためられます。すると、水は目に見えない「水じょう気」へとすがたを変え、空高くのぼっていきます。

ウ 空にうかぶ雲は、実は小さな水や氷のつぶでできています。では、雲はどのようにしてできるのか、その過程^{かてい}を順に見ていきましょう。

エ 次に、空の上は地面より気温が低いため、のぼった水じょう気は急に冷やされます。そこで再び^{ふたたび}元の水や氷のすがたに戻り、細かいつぶになるのです。

↓

↓

↓

2 次のア～エのカードは、ある児童のスピーチの一部です。スピーチ内容として適切な順番となるように、正しくならびかえましょう。

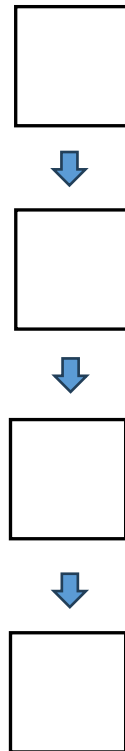
レベル7

ア そうして生まれた静けさの中でなら、ふだんは言い出せずにいる仲間の小さな思いにも、きっと気づけるはずです。そのような思いを受け止めることが、話し合いには必要なのではないのでしょうか。

イ 先日の学級会でのことです。みんなが同時に大声で言い合うばかりで、話し合いが全く進まないということがありました。今のわたしたちには、話し合いで相手の話を聞く落ち着きが足りないのではないのでしょうか。

ウ この活動を通して、だれもが安心してすごせる温かい学校を作っていきませんか。話す力と同じくらい「聞く力」を育てる場所を、わたしといっしょに目指しましょう。

エ そこでわたしは、相手の言葉にじっくり耳をかたむけるための「聞き方タイム」をてい案します。まずは静かに相手の目を見て、最後まで話を聞くことを話し合いの約束にします。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前

【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んで問いに答えましょう。

わたしが子どもだったじぶん、わたしの家は、山のふもとの小さな村にありました。わたしの家では、ちようちんやろうそくを売っておりました。

あるばんのこと、一人のうしかいが、わたしの家でちようちんやろうそくを買いました。「ぼうや、すまないが、ろうそくに火をともしてください。」

と、うしかいがわたしに言いました。わたしはまだマツチをすったことがありませんでした。

そこで、おっかなびつくり、マツチのぼうのはしの方をもつてすりしました。すると、ぼうのさきに青い火がともりました。

わたしはその火をろうそくにうつしてやりました。

ア「や、ありがとう。」

といって、うしかいは、火のともったちようちんを牛のよこはらのところにつるして、いってしまいました。

わたしは一人になってから考えました。

イ——わたしのともしてやった火はどこまでゆくだろう。

あのうしかいは山の向こうの人だから、あの火も山をこえてゆくだろう。

山の中で、あのうしかいは、べつの村にゆくもう一人の旅人にゆきあうかもしれない。

するとその旅人は、

「すみませんが、その火をちよつとかしてください。」

といって、うしかいの火をかりて、じぶんのちようちんにうつすだろう。

そしてこの旅人は、よつびて山道を歩いてゆくだろう。

すると、この旅人は、たいこやかねをもったおおぜいの人々に会うかもしれない。

その人たちは、

「わたしたちの村の一人の子どもが、きつねにばかされて村にかえつてきません。それでわたしたちはさがしているのです。すみませんが、ちよつとちようちんの火をかしてください。」

といって、旅人から火をかり、みんなのちようちんにつけるだろう。長いちようちんやまのいちようちんにつけるだろう。

そしてこの人たちは、かねやたいこをならして、やまや谷をさがしてゆくだろう。

わたしはいまでも、あのときわたしがうしかいのちようちんにともしてやった火が、から次へうつされて、どこかにもっているのではないか、と思います。

注釈）子どもだったじぶん：子どもだった時
よつびて：一晩中

「ひとつの火」新美 南吉

